

市場シェア

⑦市場シェア

- 各介護福祉機器等の市場シェアについては、明確な統計はない。各専門家へのヒヤリング情報によると以下のよう
に推測される。

表・各介護福祉機器等の市場シェア

車椅子	<ul style="list-style-type: none"> 2013年、中国車椅子業界市場規模は約110億元、販売量は約312万台。2014年、市場規模は133億元、販売量は約350万台である。今後数年間、中国車椅子市場規模の成長率は10%を維持する見込みである。 現在、中国車椅子業界の主要ブランドは江蘇魚躍、上海互邦、広東仏山、江蘇凱洋、日本三貴であり、この5社で市場全体の約20%を占める。
介護ベッド	<ul style="list-style-type: none"> 中国高齢産業協会高齢用品専門委員会の推定によると、2013年家庭用介護ベッドの市場規模は約25億元、市場の年成長率は40%を超える見込みである。 中資系企業は主に家庭用介護ベッド、外資系企業は主に電動介護ベッドを取り扱う。電動介護ベッドは価格が高いため普及率が低い。現在、中国国内の主要ブランドは浙江永輝、上海助邦、北京京首等である。
福祉車両	<ul style="list-style-type: none"> 中国高齢産業協会高齢用品専門委員会の推定によると、福祉車の市場規模は年間千台で約3～4億元。ヒヤリングによると、国家部門からの優遇政策がなければ、現在の企業の宣伝等だけでは業界全体はなかなか発展しない。 現在の福祉車は主に改造車。主要企業は豊田、宇通等である。
介護浴槽	<ul style="list-style-type: none"> 機械浴槽は入浴補助用品の一つで、現在市場規模が小さい。中国高齢産業協会高齢用品専門委員会によると、現在入浴補助用品の市場規模は約40億元。今後高齢化の加速化に伴い、入浴補助用品市場の成長率は40%に達する見込みである。それにより、より多くの製品が市場に入ってくるが、機械浴槽は価格が高いため受け入れられにくく、市場占有率は約5%と推定される。 中国高齢産業協会高齢用品専門委員会の専門家の予測によると、今後の入浴補助用品市場の主要製品は入浴チェア、バリアフリー浴槽で、これらの製品は主に中資系企業が生産している。
成人用オムツ	<ul style="list-style-type: none"> 2013年、中国成人用オムツの市場規模は約30億元。近年、高齢化の加速化及び老人の消費観の変化のため市場規模成長率は年35%以上を維持している。 現在、中国成人用オムツ市場は主に中国国内ブランドで、外資系ブランドは市場への進出期間がまだ短いため、市場占有率が低い。2013年成人用オムツ企業トップ10の福建恒安、天津喬十字、杭州橋資、天津小護士、上海全日美、義烏安柔、北京倍舒特、上海必有福、順徳新感覺、仏山穩得福は市場の約50%を占める。